

## 第2回グリーンインフラ懇談会 議事に係る事前のご意見（朝日委員）

## 1. 評価の視点について

- グリーンへの投資はハードルが高く、企業等にとってはマイナスの評価（効果に対して魅力を感じない）となりがち。行政が積極的に、（効果があるからそれを評価するというのではなく、）グリーンについては施策・事業や調達の評価に組み込むことによって、グリーンは当然に評価するものであることをメッセージとして打ち出していくのがよい。

## 2. 資金調達の視点について

- 環境に対してお金を支払うという意識はまだ弱い。こうした意識が変わる方向へもっていくとともに、グリーンインフラから裨益していて、収益を上げている企業から資金を調達できるようにするなど、資金が回る仕組みが必要ではないか。

## 3. 連携の視点やインフラとしての機能の視点について

- 都市公園（国交省所管）と自然公園（環境省所管）は、歩行の増加による健康増進など、効果の面からみると同じところがあり、これらを一体的に考えていくという議論も出てきている。
- このように、目指す効果から、グリーンインフラのインフラとしてのあり方や、連携のあり方などを考えていくとよい。